

グランプリ決定！！

～ 「赤穂御崎灯台フォトコンテスト」の審査結果について～

平成30年11月1日の『灯台記念日』で、灯台150周年を迎えることから、姫路海上保安部では、これを記念して、地元住民の皆様へ灯台や海上保安庁の業務について理解を深めていただくため、地元で親しまれた御崎の灯台をテーマとして、灯台を活用した地域活性化を赤穂市、赤穂観光協会、地元の有志の方々と連携した赤穂御崎灯台フォトコンテストを行いました（応募総数 37点）。

このたび、赤穂御崎灯台フォトコンテストについて厳格な審査を行い、入選者が決定しました。各賞の入選者につきましては、次のとおりです。

【グランプリ】



（兵庫県姫路市在住 黒田與四男 さん）

【特選】



（兵庫県姫路市在住 村上正幸 さん）

【準特選】



(兵庫県神戸市在住 藤田明美 さん)

【準特選】



(兵庫県姫路市在住 木原聡 さん)

【特別賞（姫路海上保安部長賞）】



(兵庫県赤穂市在住 橋本正弘 さん)

【特別賞（御崎灯台を守る会賞）】



（兵庫県赤穂市在住 秋田治男 さん）

表彰式：平成30年10月28日（日） 姫路港ふれあいフェスティバルの開催に併せ、
姫路みなとミュージアムにて実施されます。

赤穂御崎灯台フォトコンテスト

テ ー マ：赤穂御崎の灯台及び灯標（赤穂御崎灯台、赤穂灯標）

応募期間：平成30年4月2日（月）～平成30年8月31日（金）

主 催：姫路海上保安部

後 援：赤穂市

協 賛：（一社）赤穂観光協会、御崎灯台が丘プロジェクト

灯台記念日

海上保安庁では、我が国初の洋式灯台である観音崎灯台（横須賀市）の起工日（1868年11月1日）に因んで11月1日を『灯台記念日』と定めており、今年は150周年を迎えます。

赤穂御崎灯台

播磨灘を航行する船舶の道しるべとして兵庫県赤穂御崎の高台に昭和38年に設置され条件次第では四国や島々を見ることができ、北には赤穂の市街地を一望できます。

白亜の八角形の灯塔は付近の景観にふさわしく観光地赤穂温泉のシンボルとして市民に親しまれています。

赤穂御崎

赤穂市御崎は瀬戸内海国立公園の一角で播磨灘から小豆島、家島諸島を望む景色はすばらしいものとなっています。特にここからの夕日は絶景で、日本の夕日百選にも選定されています。

海の眺めながらの散歩道の途中には「大石名残の松」と呼ばれる松があり、大石内蔵助が赤穂を去る時に、何度も見返していたと言われています。

また、春は桜の名所としても知られており「御崎さくらまつり」が例年行われています。

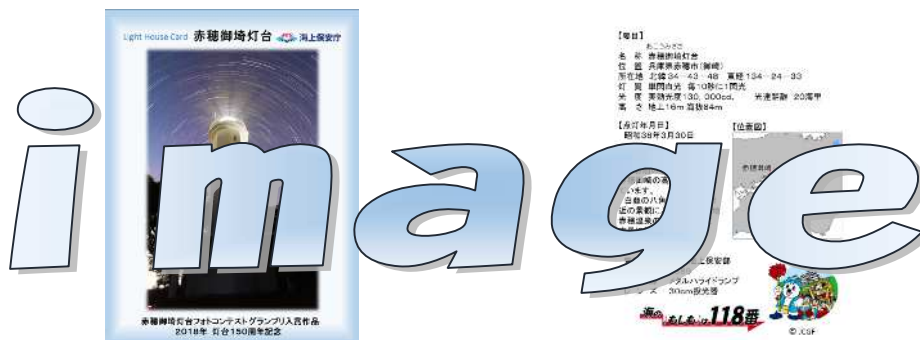
町並みは温泉街や伊和都比売神社の他、瀬戸内海の美しい海の景色を一望できる「一望の席」があります。（伊和都比売神社前に設置）



（一社）赤穂観光協会ホームページより抜粋

灯台カード

灯台の写真や詳細なデータを記載している名刺サイズの姫路海上保安部オリジナルカードで、本フォトコンテストグランプリ作品を原画として採用します。（数量限定）



たくさんのご応募ありがとうございました！

今回残念ながら入賞されなかった作品も含め、ご応募くださいましたみなさんの作品を **10月26日から11月2日まで**「姫路みなとミュージアム」で展示する予定です。

ぜひ、ご来場くださいませ！（入場無料）